

## 王座リーグ今後の順位について

九州学生テニス連盟

「入れ替え戦」については、基本的に今回の「リーグ戦改革」は「リーグの活性化」がベースであることから、「2大学制」を取り入れる。そこで、上述しているとおりに、「リーグ5位」の大学は、「下部リーグ2位」と「入れ替え戦」を行う。その「入れ替え戦」において、仮に「リーグ5位」の大学が勝者の場合は「リーグ残留」、「下部リーグ2位」の大学が勝者の場合は「上部リーグ昇格」となる。また「リーグ6位」大学は、自動降格（次年度、下部リーグ1位）となり、必然的に「下部リーグ1位」は自動昇格（次年度、上部リーグ6位）となる。但し、上位リーグ5位の大学が下位リーグ2位の大学に敗退した場合の次年度リーグの順位については、本年度当該リーグの順位決定戦の順位が、次年度の当該リーグの順位となる。

このように明記しておりましたが学連で話し合った結果、リーグ戦で1位の大学は同リーグ2位の大学よりも総合的に見て実力が上位である判断をいたしました。

しかし、上記の順位規定であるとリーグ戦で1位の大学は同リーグ2位の大学(仮に入れ替え戦に勝利し昇格した)より実力が下がること、リーグ戦で5位の大学(仮に入れ替え戦に敗退し降格した)は同リーグ6位の大学より実力が下がることを踏まえ、以下のように変更いたしました。

(変更後)「入れ替え戦」については、基本的に今回の「リーグ戦改革」は「リーグの活性化」がベースであることから、「2大学制」を取り入れる。そこで、上述しているとおりに、「リーグ5位」の大学は、「下部リーグ2位」と「入れ替え戦」を行う。その「入れ替え戦」において、仮に「リーグ5位」の大学が勝者の場合は「リーグ残留」、「下部リーグ2位」の大学が勝者の場合は「上部リーグ昇格」となる。また「リーグ6位」大学は、自動降格となり、必然的に「下部リーグ1位」は自動昇格となる。但し、次年度リーグの順位については、**本年度当該リーグの順位決定戦の順位が、入れ替え戦の結果より優先して反映される。**

例)

2部リーグ決勝でC校がD校に勝利し、1位C校、2位D校になった。

→C校が1部昇格、D校が1.2部リーグ入れ替え戦へ

1部リーグ5、6位決定戦でA校がB校に勝利し5位A校、6位B校となった。

→A校が1.2部リーグ入れ替え戦へ B校が自動降格

その後1.2部入れ替え戦においてD校(2部2位)がA校(1部5位)に勝利した場合、

リーグ順位は

1部5位 C校

6位 D校

2部1位 A校

2位 B校とする

※例)において入替戦にてA校(1部5位)がD校(2部2位)に勝利した場合、

リーグ順位は

1部5位 A校

6位 C校

2部1位 B校

2位 D校とする

そのため、来年度の王座では以下の順位で行う。

1部男子

1位 福岡大学

2位 鹿屋体育大学

3位 長崎国際大学

4位 九州大学

5位 九州共立大学

1部女子

1位 鹿屋体育大学

2位 福岡大学

3位 西南学院大学

4位 長崎国際大学

5位 佐賀大学

6位 長崎大学

6位 熊本学園大学

2部男子

1位 熊本学園大学

2位 熊本大学

3位 西南学院大学

4位 鹿児島大学

5位 福岡教育大学

6位 久留米大学

2部女子

1位 西南女学院大学

2位 折尾愛真短期大学

3位 長崎大学

4位 福岡教育大学

5位 日本経済大学

6位 九州大学

3部男子

1位 佐賀大学

2位 大分大学

3位 九州産業大学

4位 該当大学なし

3部女子

1位 鹿児島大学

2位 大分大学

3位 熊本県立大学

4位 熊本大学